

【資料 6】2023 年度事業計画書の件

2023 年度事業計画書

(2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日まで)

1. 財団事業

- 1) 豊かな食文化の創造に寄与するバイオサイエンス及びこれに関連する分野における調査研究に対する助成

＜2022 年度研究助成者報告＞

2022 年度に研究助成を実施した研究者から以下の予定で報告をいただく。

時期	内容
2023 年 4-5 月	助成者から報告書提出、財団ホームページへの掲出
2023 年 6 月	研究成果報告講演会開催

＜2023 年度助成金の支出＞

2023 年度助成事業として下記手続きにより選考された研究者に対し研究助成金を支出する。

時期	内容
2023 年 2-3 月	選考委員会・理事会承認を経て助成者決定・通知
2023 年 4-5 月	助成金支払い手続き（1 件 70 万円× 7 件：内 2 件は北海道食産業振興支援分を予定）
2024 年 4-5 月	助成研究報告書提出、財団ホームページへの掲出
2024 年 6 月	研究成果報告講演会開催

＜2024 年度研究助成公募スケジュール＞

時期	内容
2023 年 9 月	応募内容・選考方法・進捗状況把握等の内容について検討
2023 年 10 月	募集要項作成（通常助成 6 件、北海道助成 1 件程度を予定）
2023 年 11-12 月	公募期間
2024 年 2-3 月	選考委員会・理事会承認を経て、助成者決定・通知

- 2) 豊かな食文化の創造に寄与するバイオサイエンス及びこれに関連する分野に関する講演会、研究会等の開催並びにその援助

①財団で主催

前項の 2022 年度助成研究成果を発表する研究報告講演会を 2023 年 6 月に東京都内で開催、事前に財団 H P 上で開催概要と内容を告知し、一般からの参加が可能な形で公開にて開催する。新型コロナウイルス禍の影響を鑑み、通常の会議体及び WEB 上でのリモート会議の併用も検討する。

②その他、関連分野の講演会・研究会の支援について

定期的な支援先は定めないが、財団の目的に沿った講演会・研究会がある場合には、内容を精査した上で理事会に諮り、支援を決定する。

3) 北海道の食産業振興支援

①2021年度の同助成に関しては、2022年3月に以下の案件を支援することを提案し、理事会の決議を経て2021年度予算の範囲内で2022年4月からの研究に助成を実施し2023年度の発表会で成果を発表していただく予定。

助成対象者：

助成テーマ：

②2022年度の同助成予算に関しては、2022年11-2023年1月の通常助成研究の公募の中に、
4) 北海道食産業振興に貢献する調査・研究を項目として挙げ、公募により幅広く課題を収集し、選考委員会において選考を行い、理事会の決議を経て2023年度の助成案件として以下の2課題を選定し、配布することとした。次年度以降も、前年度の予算を未払金として計上し、配布を行っていく。

助成対象者： 助成テーマ：

助成対象者： 助成テーマ：

これらについては、2023年度に研究助成を実施し、2024年6月の発表会での成果発表をして頂く予定としている。

2. 会議（予定）

- | | | |
|----|-----------|-----------|
| 1) | 電子メール理事会 | 2023年5-6月 |
| 2) | 定時理事会 | 2023年6月 |
| 3) | 定時評議員会 | 2023年6月 |
| 4) | 研究成果報告講演会 | 2023年6月 |
| 5) | 選考委員会 | 2024年2月 |
| 6) | 電子メール理事会 | 2024年2-3月 |
| 7) | 臨時理事会 | 2024年2-3月 |
| 8) | 臨時評議員会 | 2024年2-3月 |

臨時理事会、評議員会の日程は変更の可能性あります。

以上